

農場基盤及び施設・設備の整備に関する調査

全国高等学校農場協会振興局

1 調査目的

主体的に社会に参画し、多様な人々と協働しながら、持続的な社会づくりに貢献できる産業人の育成が、専門教育に求められている。こうした要望に応えるため、農業科では様々な教育活動を実践している。そして、新学習指導要領に基づく学習指導や、安全な実験・実習の指導、環境に配慮した持続可能な農業の学びなどが農業教育に求められているが、施設・設備の整備の遅れや老朽化などが長年の課題となっている。そこで、時代に沿った学習環境の整備を進めながら、GIGA スクール構想を早期に実現し、society5.0 の時代に対応できる農業教育を目指すためにも、農業教育における施設・設備の整備に関する予算の確保は、重要な課題である。

農業生産工程管理 (GAP) の第三者認証を取得する動きが、全国の農業関係高校で広がりを見せている。農畜産物や作業の安全確保などについての学習も、しっかりと身に付けさせなければならない。こうした学習が、すべての農業関係高校で円滑に取り組むことができるようにするため、施設・設備の拡充や維持が必要である。

今回も、新学習指導要領で求められている GAP や HACCP の学習や取得ができる環境の有無について、学習面から、現在の各校の施設・設備で十分に対応できるかどうかを調べた。

このアンケートを通して、こうした教育活動が実践できる学習環境を充実させるための参考資料としたい。

2 対象

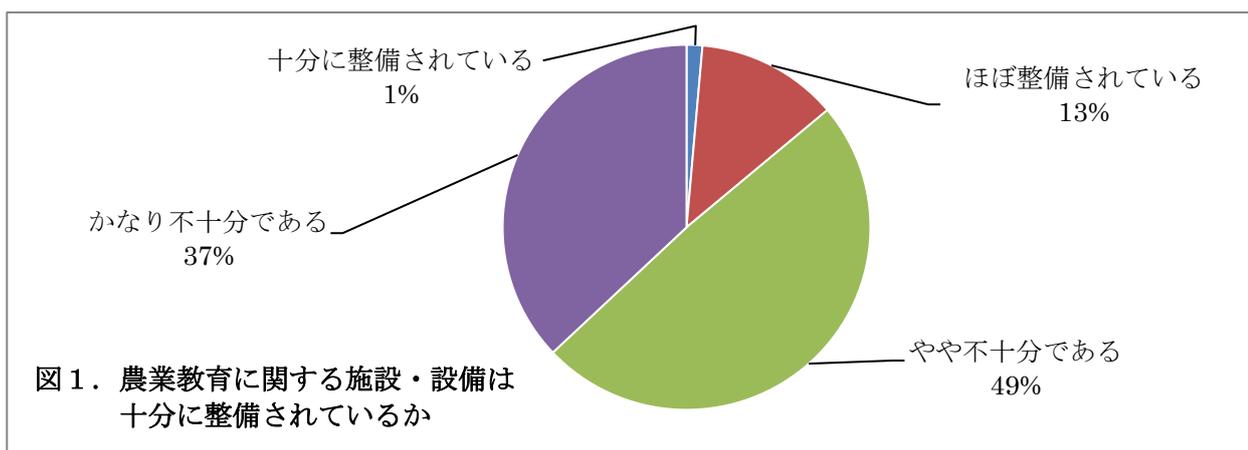
農業関係学科を設置している高等学校 (375 校)

3 アンケート結果

全国高等学校農場協会会員校 375 校中 218 校の学校から回答があり、昨年度より 6% 回答率が上がった。校種の内訳は、農業学科と他学科の併設校が 48%、農業単独校が 33%、総合学科が 17%、その他 2% であった。

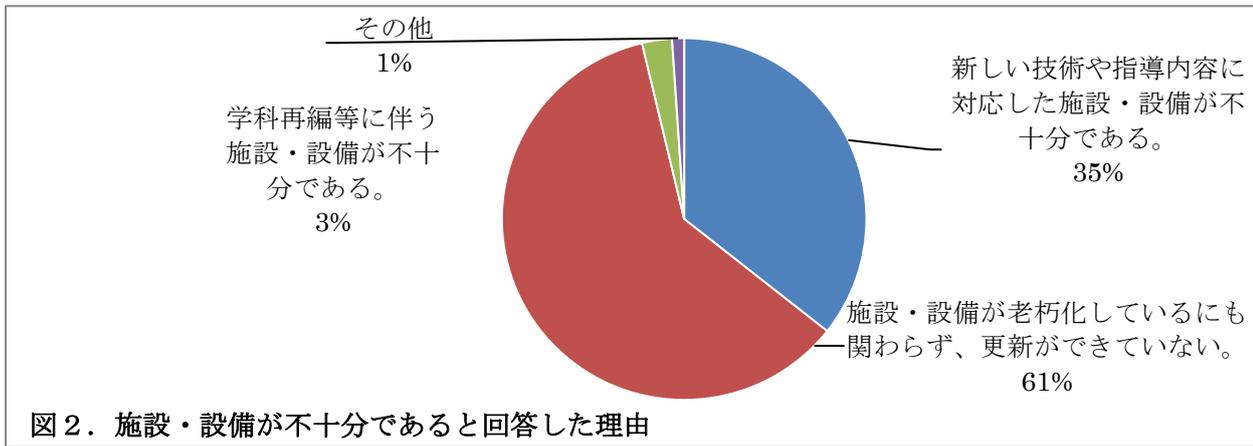
1 貴校で農業教育に関する施設・設備は十分に整備されていますか。

質問に対して、やや不十分である 49%、かなり不十分であるが 37% となり、両方を合わせて全体の 8 割以上の学校で不十分であるとの回答を得た。十分に整備されている 1%、ほぼ整備されている 13%。改善の必要性が高い。



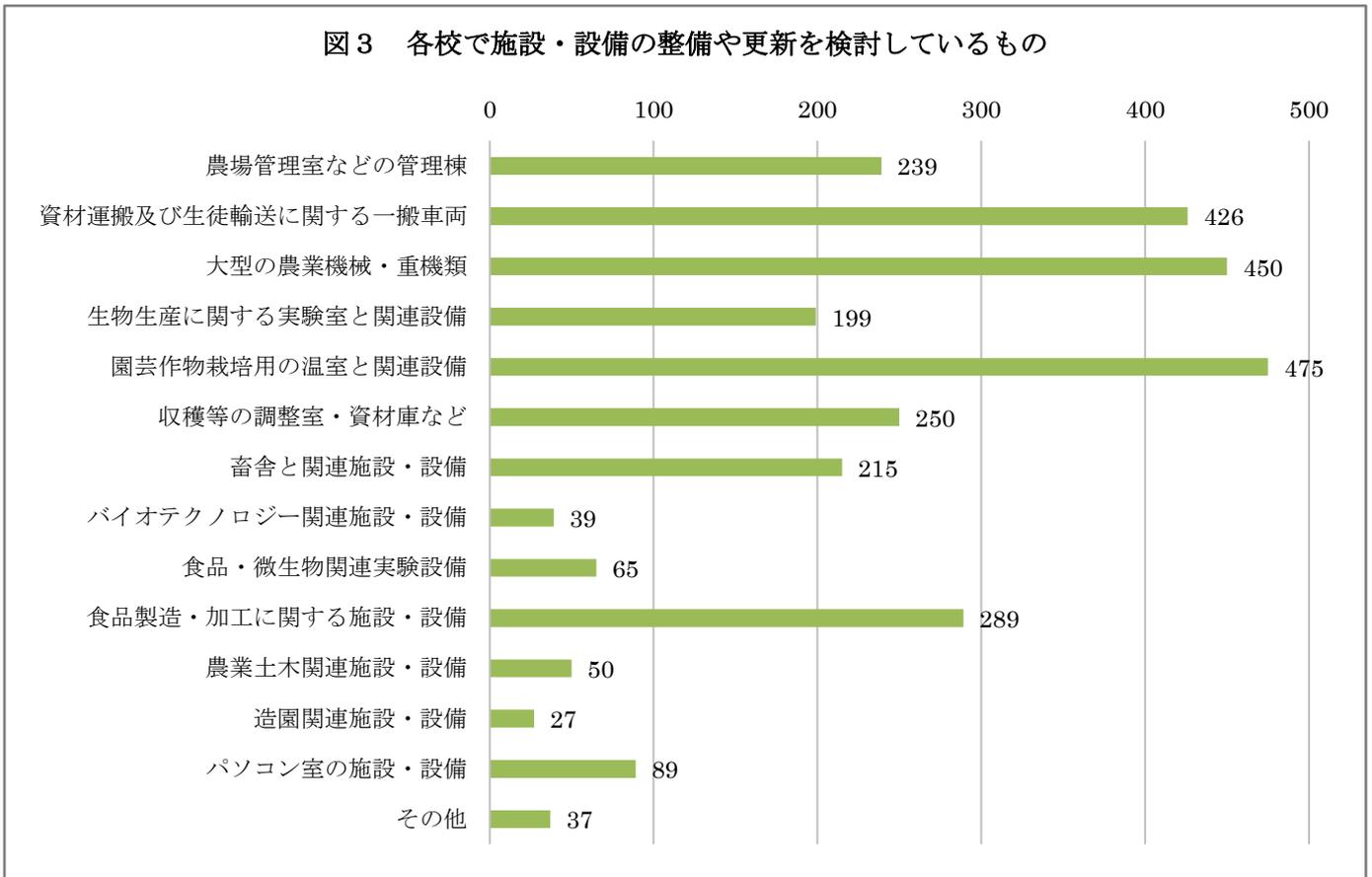
2 施設・設備が不十分であると回答した場合 (1 でやや不十分・かなり不十分と回答した場合) の理由を次の中から選んでください。該当項目が複数ある場合はすべて選んでください。

施設・設備が老朽化しているにも関わらず、更新ができていないが全体の 6 割程度。更新が進んでいない現状が見えてくる。次に、新しい技術や指導内容に対応した施設・設備が不十分であると回答した学校は全体の 35% となり、技術革新に応じた環境に整備されていない様子がうかがえる。



3 貴校で現在、整備や更新を考えている施設・設備を次のうちから選び、優先順に5つ以内でお答えください。

整備や更新を考えるもっとも多い施設・設備は、園芸作物栽培用の温室と関連設備であった。次は大型の農業機械・重機類。3番目は資材運搬及び生徒輸送に関する一般車両であった。4番目に食品製造・加工に関する施設・設備の順。5番目が収穫等の調整室・資材庫となった。いずれも生徒と生産物の安全や衛生に直接関係するものであり、早急な対策が必要である。



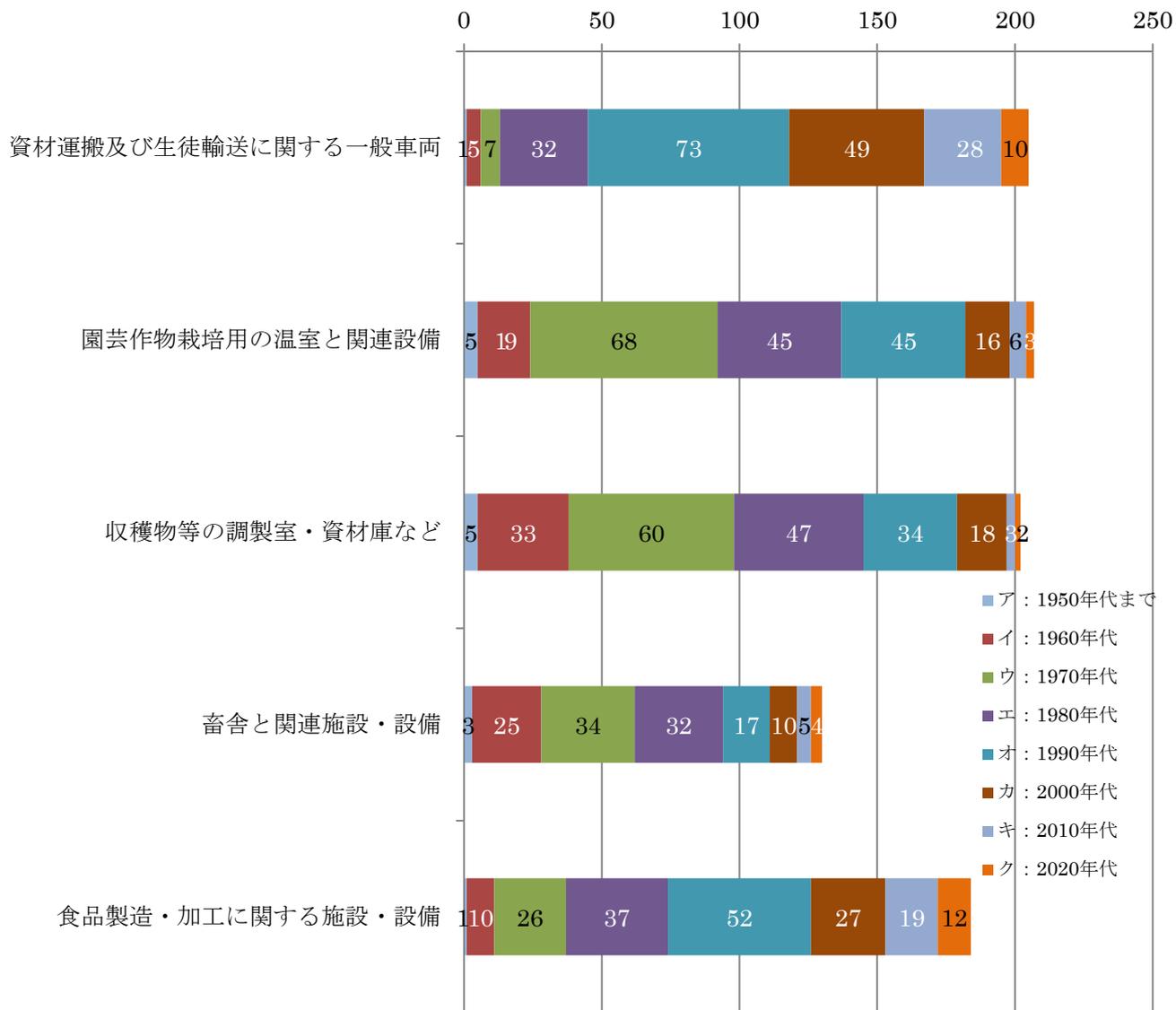
4 次の施設・設備や、車両・農業機械の取得した年代（西暦）を1つ選択してください。

「取得した年代（西暦）」とは、現在使用している施設・設備が学校に設置及び導入された年代です。

該当物品が複数ある場合は、現在使用中のもので最も古い物品の取得した年代（西暦）をご記入ください。

整備や更新を考える最も多い施設・設備である、園芸作物栽培用の温室と関連設備が、1970年代の取得が1番目だった。他には、収穫物等の調整室・資材庫などと、畜舎と関連施設・設備が、1970年代の取得が1番目となった。資材運搬及び生徒輸送に関する一般車両と、食品製造・加工に関する施設・設備で最も多いのが、1990年代の取得であった。

図4. 老朽化している施設・設備の取得年代



5 貴校の施設・設備では農業生産工程管理（GAP）の学習や取得に対応できますか

現在の施設・設備では GAP の学習や、取得に対応できないという学校が 54%と半数を占め、かなり多いことが分かった。現在整備中であるが 7%であった。合わせると約 6 割が、すぐに対応するのは難しい環境にある回答を得た。

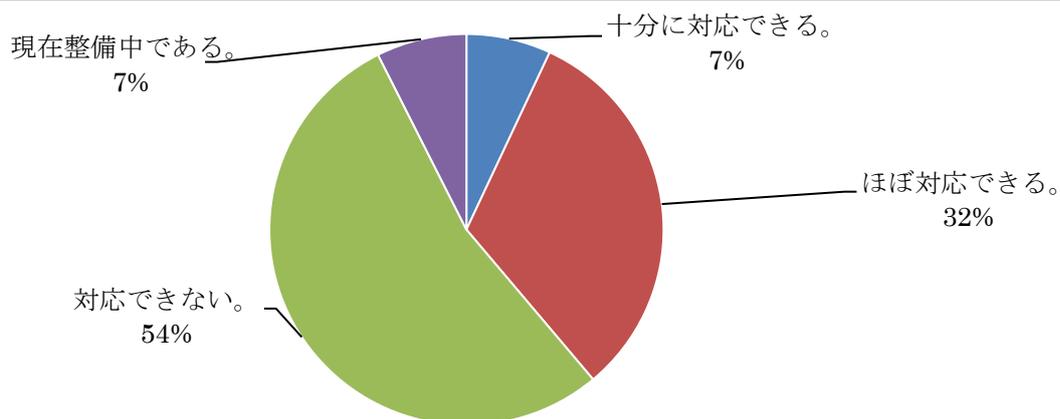
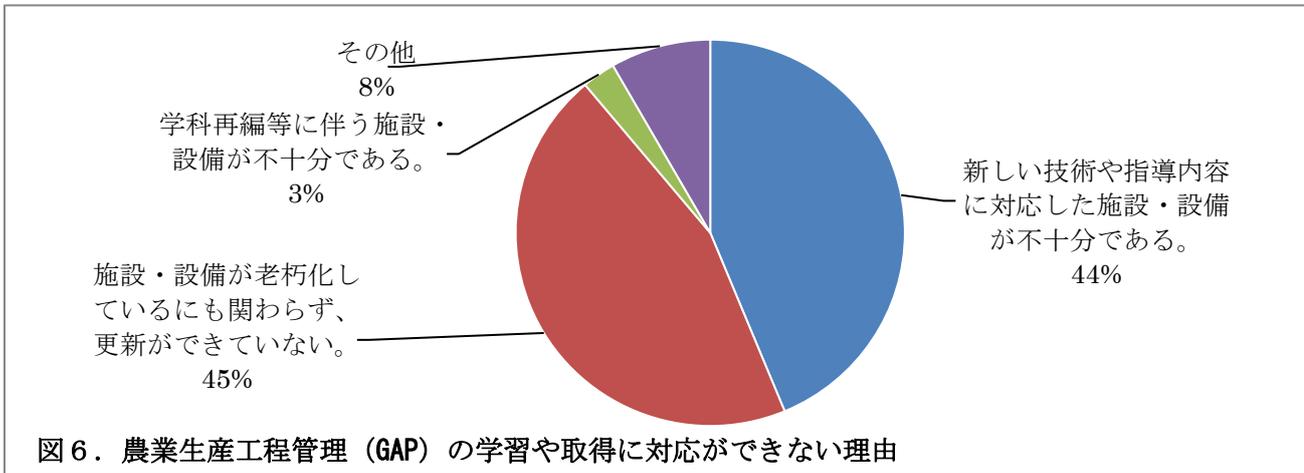


図5. 農業生産工程管理（GAP）の学習や取得に対応できるか

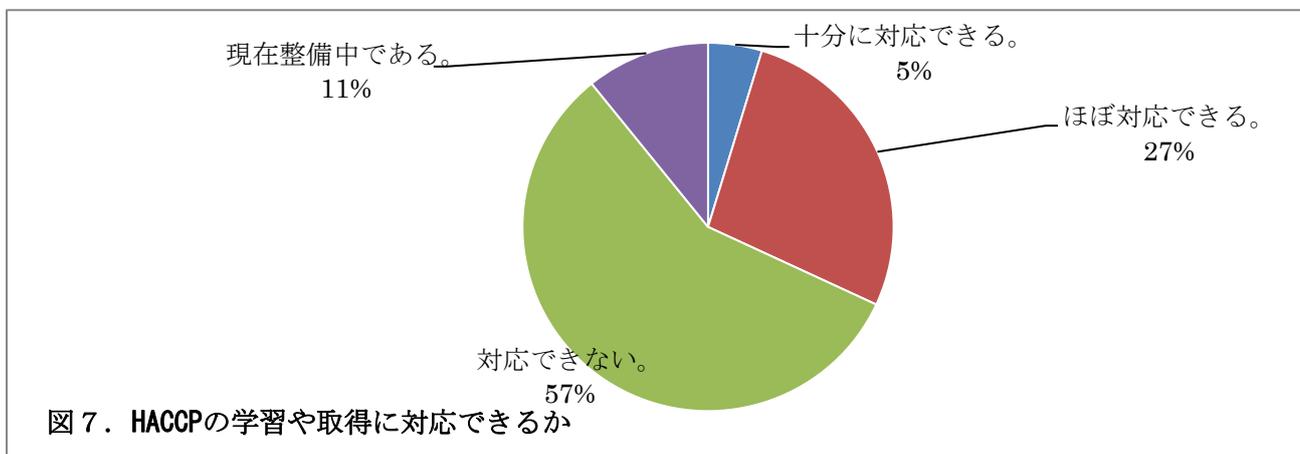
6 農業生産工程管理（GAP）の学習や取得に、「対応ができない」と回答した理由を次のうちから選んでください。該当項目が複数ある場合はすべて選んでください。

施設・設備が老朽化しているにも関わらず、更新が十分にできていないが45%。新しい技術や指導内容に対応した施設・設備が不十分であるが44%。この2つの理由がほぼ同数で、合わせると約9割となった。この結果から、施設・設備の更新を早急に検討しなければならないことが理解できる。



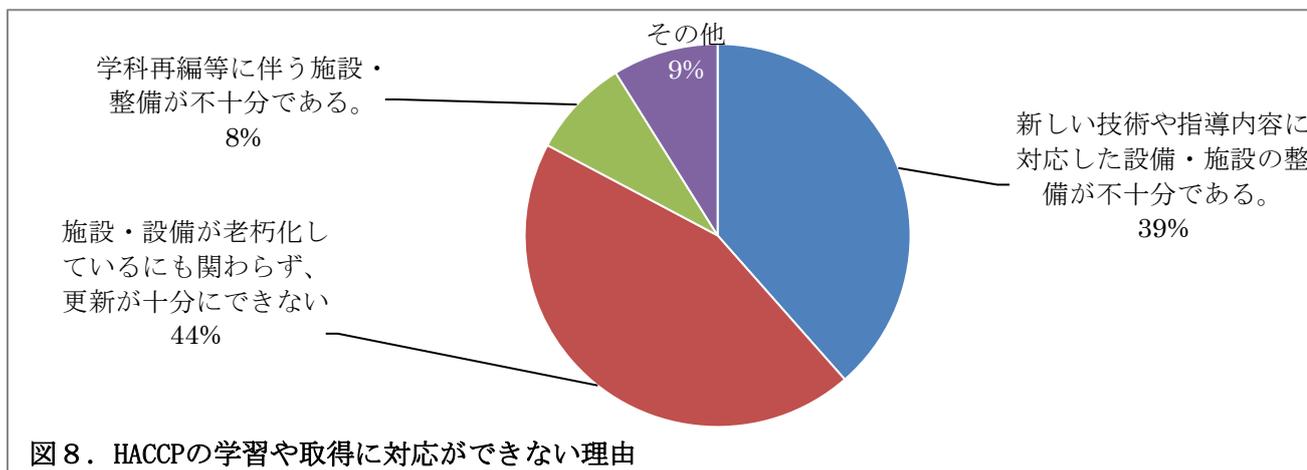
7 貴校の施設・設備では HACCP の学習や取得ができますか。

最も多かったのは、対応できないという回答で、全体の57%であった。次にほぼ対応できるが全体の27%、となった。現在整備中が全体の11%となった。十分に対応できるが全体で5%しかなく、現在の施設・設備では、HACCPの学習や取得がかなり難しいことがわかった。



8 HACCPの学習や取得に、「対応ができない」と回答した理由を次のうちから選んでください。該当項目が複数ある場合はすべて選んでください。

施設・設備が老朽化しているにも関わらず、更新が十分にできないが44%。次に新しい技術や指導内容に対応した施設・設備の整備が不十分であるが39%となった。HACCPの取得には、かなり難しいことが言える。



4 おわりに

全国の各農場代表の皆様におかれましては大変お忙しいなか多大なるご協力を賜りまして、大変ありがとうございました。お預かりしたデータを分析し、今後の要望につなげていきたいと思えます。

今年度も、調査方法をQRコードで実施しました。アンケートの設問回答がうまくできない等がありましたら、ご容赦をください。次年度は、全国の先生方の貴重なご意見を反映出来るように改善してまいります。結びに、本調査が少しでも、各都道府県の農業教育予算獲得のお役に立てることを、切に願いたいと存じます。